

# 腐葉土中に含まれる人工放射性核種分析の結果

平成 23 年 8 月 2 日  
高知県衛生研究所

## 1 検査検体

平成 23 年 8 月 2 日 19 時 20 分に高知県農業政策課から衛生研究所に持ち込まれた検体

検体 No. 腐葉土 17

《商品名》

完熟腐葉土 ふるい通し

25mm アンダー 20L

栃木県那須野ヶ原 木の葉採取

## 2 検査機関・検査日時・検査方法

○ 検査機関 高知県衛生研究所

○ 検査日時・検査検体量

腐葉土 17 平成 23 年 8 月 2 日 19 時 39 分～20 時 09 分 36g

○ 検査方法

ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

## 3 検査結果

単位 Bq/kg

検体	セシウム-137	セシウム-134	放射性セシウム合計
腐葉土 17	730	710	1440

## 4 結果の評価

■ 土壤改良資材として使用できる放射性セシウム濃度は、400 Bq/kg であり、1440 Bq/kg は、この濃度の 3.6 倍

※放射性セシウムを含む肥料・土壤改良資材・培土及び肥料の暫定許容値の設定について

(平成 23 年 8 月 1 日 農林水産省消費・安全局長、生産局長、林野庁長官、水産庁長官)

■ 腐葉土の表面で測定された空間放射線量は 0.14 マイクロシーベルト/時であり、通常値 (約 0.04 マイクロシーベルト/時) より高い数値となっているが、健康には全く影響のないレベルである。

高知県内でもこの程度の空間放射線量は過去に観測されている。

1997.2～2004.7 足摺岬5地点平均値 0.149 マイクロシーベルト/時

